

第1回 川内川河川整備計画懇談会 会議資料

- ① 河川整備計画のフォローアップ体制について
- ② 川内川河川整備計画の取り組み状況について
(治水対策、河川の利活用、広報活動)
- ③ 川内川環境・景観基本構想策定に向けての取り組みについて

平成22年2月24日
川内川河川事務所

① 川内川河川整備計画のフォローアップ体制について

① 川内川河川整備計画のフォローアップ体制について

【平成21年2月26日 第4回川内川学識者懇談会資料(一部変更)抜粋】

川内川の中・長期計画について検討・評価

「整備計画のフォローアップ体制」

河川整備計画検討時に「川内川学識者懇談会」として検討に携わり、川内川河川整備計画の内容を熟知している元委員の方を基本として選定

○川内川学識者懇談会

国土交通省九州地方整備局が定める「川内川水系河川整備計画(国管理区間)」について、河川法第16条の2第3項に規定する趣旨に基づき、学識経験者としての意見を述べることを目的として実施。

- 第1回：平成19年12月21日
- 第2回：平成20年2月25日
- 第3回：平成20年7月29日
- 第4回：平成21年2月26日

秋吉 康弘
安達 貴浩
小島 摩文
小林 一郎
小松 利光
酒匂 靖夫
鮫島 正道

四宮 明彦
田川 日出夫
中山 晃
疋田 誠

農業水利
環境水理
教育・歴史
景 観
河川工学
水生植物
鳥類・哺乳類・爬虫類・両生類
魚介類
植 物
農業水利
河川工学

宮崎大学名誉教授
鹿児島大学工学部准教授
鹿児島純心女子大学国際人間学部准教授
熊本大学大学院自然科学研究科教授
九州大学大学院工学研究院教授
元鹿児島県立博物館学芸指導員
鹿児島大学農学部客員教授
鹿児島大学水産学部教授
鹿児島大学名誉教授
鹿児島県土地改良事業団体連合会専務理事
鹿児島工業高等専門学校土木工学科特任教授

治水・防災

治水対策のあり方やソフトとハード両面の検討

環境・景観

川内川環境・景観基本構想策定に向けた検討

利・活用

川内川の環境整備や河川活動、広報等のあり方について検討

【必要に応じ専門の学識者及び流域住民など適宜参加頂く】

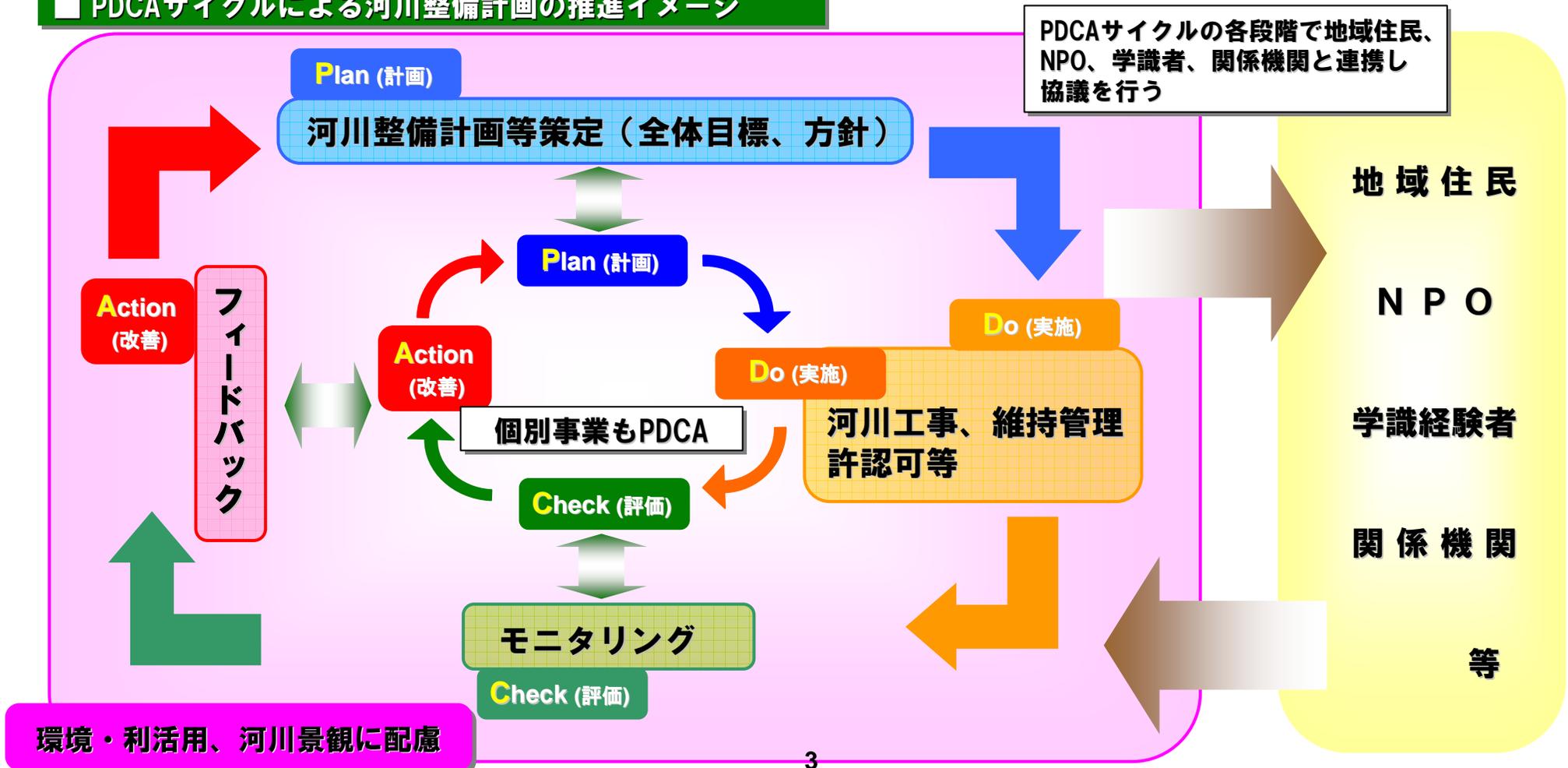
個別具体の川づくりについての検討は「川内川の川づくり懇談会」にて地域住民と協働した計画検討や官民協働の維持管理を検討するが、その際には上記委員にも必要に応じ参加して頂く。

① 川内川河川整備計画のフォローアップ体制について

PDCAサイクルを踏まえた河川整備計画の推進

河川整備計画の推進は治水・利水と合わせ環境・利活用や河川景観に配慮して行い、計画の策定から実施、モニタリングを経て、再度計画の見直し等へフィードバックする大きなサイクルと個別事業・維持管理、許認可等の様々な段階におけるサイクルも組み合わせ、継続的に推進・改善を行います。

PDCAサイクルによる河川整備計画の推進イメージ



① 川内川河川整備計画のフォローアップ体制について

川内川河川整備計画懇談会の位置づけ

河川整備計画に基づいた事業の実施に際して、現在の事業実施状況、また、今後の事業展開等の報告を行い、河川整備計画のフォローアップを行うために設置。

- ・ 川内川水系河川整備計画の着実な推進に向けた提案・助言
- ・ 川内川流域の地域活性化に向けた新たな提案・助言
- ・ 河川景観の保全・形成の提案・助言

川内川河川整備計画懇談会

実施状況等の報告

より良い河川整備とするための
フォローアップを実施

助言・提案

川内川河川事務所

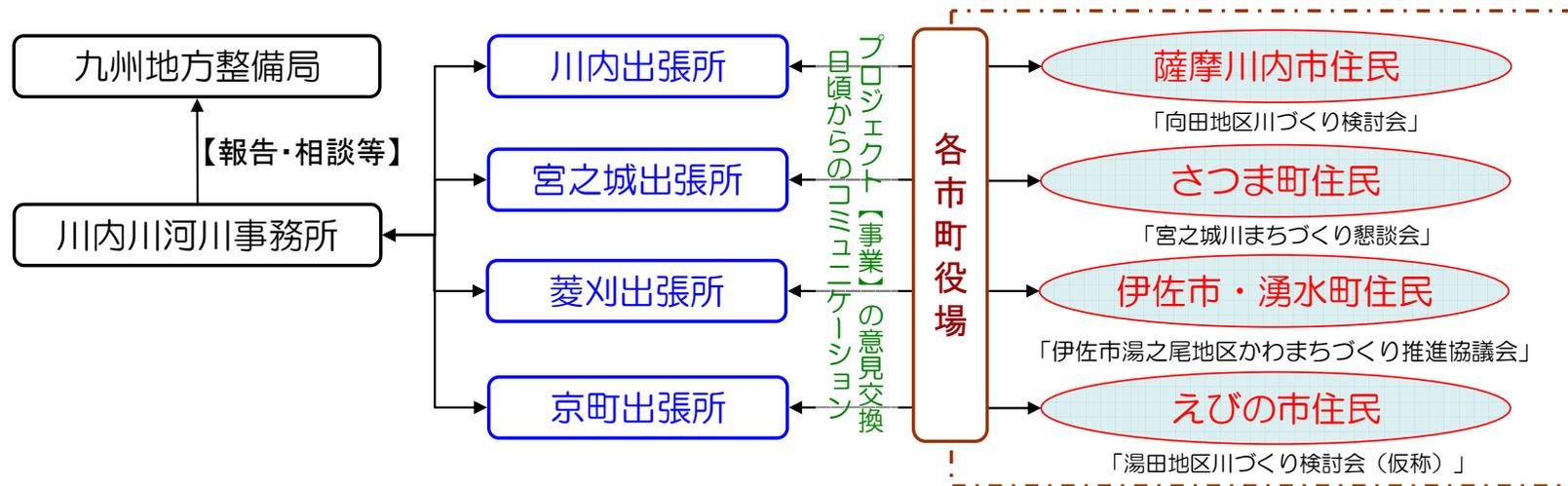
川内川水系河川整備計画の取り組み状況

- ・ 出水概要
- ・ 治水対策
- ・ 防災対策
- ・ 流況報告
- ・ 渇水対策
- ・ 自然環境
- ・ 環境整備
- ・ 子ども環境ネットワーク活動
- ・ 住民による河川管理
- ・ NPO等の活動

① 川内川河川整備計画のフォローアップ体制について

住民と協働した計画策定から維持管理を検討する『川内川の川づくり懇談会』

河川整備を進めるにあたっては、地域住民やNPO等との意見交換会を行い、川内川の将来像の構築や維持管理等を踏まえた利・活用のあり方を語り合い、次世代に誇れる連携・参加型の川内川の川づくりを進めていきます。



各出張所毎にフリーメンバーでの懇談会（検討会）を設立し、各市町と連携・協働して河川事業を核とした川づくりやまちづくり及び川内川の将来像についてワークショップ等を実施し、意見交換を実施していきます。また、「川内川まちづくり」に併せて“良い現場”を作り上げるための人材育成【事務所・出張所職員、コンサル、施工業者等】を実施していきます。



「向田地区川づくり検討会」【薩摩川内市】の開催状況



「宮之城地域川づくり検討会」【さつま町】の開催状況



② 川内川河川整備計画の取り組み状況について

② 川内川河川整備計画の取り組み状況について（治水対策）

激特事業による河川改修の実施（ハード対策）

平成18年7月洪水での外水はん濫による家屋浸水被害を解消するため、激特事業による緊急的な河川改修を進めています。

事業概要

■ 事業目標

平成18年7月洪水の外水はん濫による家屋の浸水被害を解消する。

→ 家屋浸水被害を約1500戸解消する計画

■ 採択延長

62.3km ⇒ 全国歴代2位

■ 事業費

約356億円（国：約331億円）
（鹿児島県：約19億円、宮崎県：約6億円を含む）
⇒ 九州最大規模

■ 事業箇所（国施工）

62.3km ⇒ 全国歴代2位

■ 事業量

用地取得面積：約68万m²、築堤延長：約16km
掘削量：約200万m³、水門、樋門等：27箇所

■ 工期

平成18年度～平成22年度（5ヶ年間）

進捗状況

■ 平成18年度

- ・ 事業対象箇所の測量を実施
- ・ 菱刈地区の河道掘削に着手

■ 平成19年度

- ・ 設計を概ね完了させ、地域への計画説明を実施後、用地等の調査を実施

■ 平成20年度～平成21年度

- ・ 地域の理解が得られた箇所より本格的に用地取得協議・補償を進め、完了した箇所より平成22年度末完了に向けて工事実施中

■ 現在の状況

用地調査：全29箇所の用地等調査を平成21年3月末で概ね完了

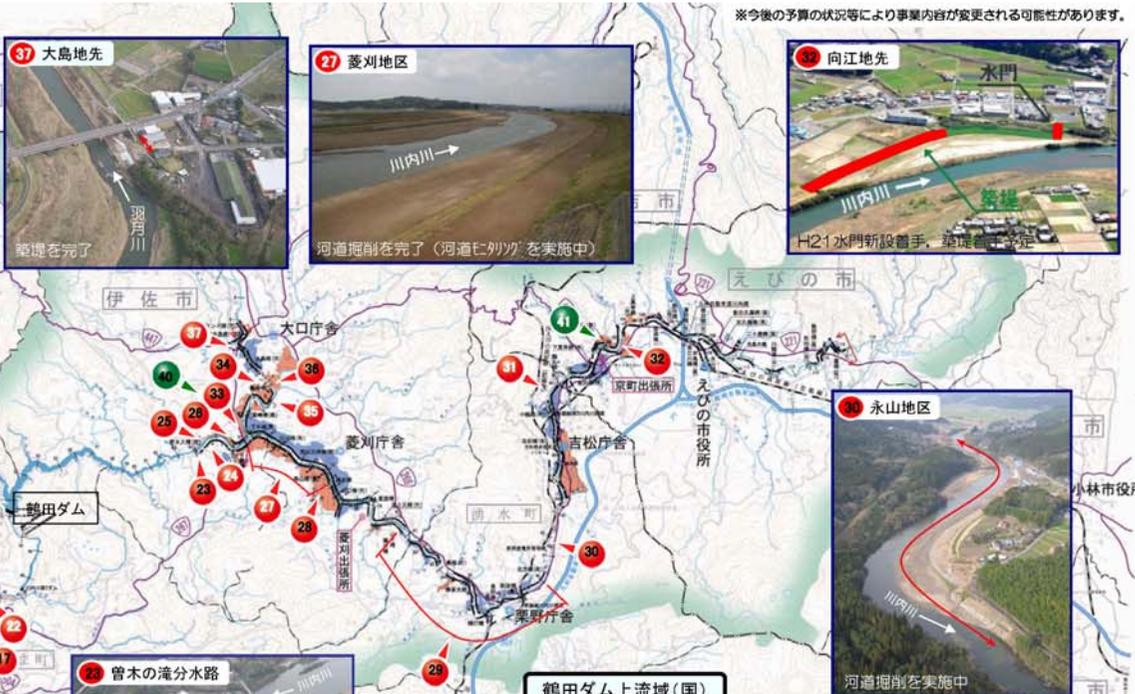
用地取得：平成20年4月以降地権者との協議を実施中。29箇所のうち13箇所において完了。16箇所において協議中（89%取得済み：用地面積ベース）

工事着手：平成20年度末までに12箇所で一部築堤（約3100m）を実施し、5箇所完了及び5箇所での河道掘削（約89万m³）を実施し、3地区の河道掘削については概ね完了。現在24箇所で事業推進中

② 川内川河川整備計画の取り組み状況について（治水対策）

激特事業による河川改修の実施状況

河川名	市町名	箇所名	事業内容	用地関係(面積)		工事関係(築堤延長or掘削量)		完了 目標年度
				状況	取得率	状況	進捗率	
川内川	薩摩川内市	1 樋渡地先	築堤・樋門	協議中	96%	H20年10月着手	31%	H22
		2 五社下地先	築堤・特殊堤・樋門	完了	100%	H20年3月着手	40%	H21
		3 橋元地先	築堤・樋門	完了	100%	H20年5月着手	66%	H21
		4 司野地先	樋中堤・樋門	協議中	86%	H21年10月着手	0%	H22
		5 市瀬下地先	樋中堤・樋門	完了	100%	H21年12月着手予定	0%	H22
		6 南瀬地先	【国施工】築堤・樋門	協議中	88%	H21年3月末完了	100%	完了
		7 久住地先	【鹿児島県施工】道路	完了	100%	H21年10月着手	0%	H22
		8 倉野地先	築堤	協議中	94%	H19年7月着手	27%	H22
		9 須帆地先	築堤	協議中	-	H21年3月末完了	100%	完了
		10 須帆地先	家屋補償	完了	100%	-	-	H21
川内川	さつま町	11 二乗1地先	築堤・樋門・(山崎橋)	協議中	75%	H21年10月着手	0%	調整検討中
		12 二乗2地先	築堤・樋門	協議中	96%	H19年7月着手	67%	H22
		13 虎居地先	家屋高上げ	協議中	-	-	-	H21
		14 山崎地先	築堤・山崎橋	協議中	71%	(H21年度事業費未定)調整検討中	0%	調整検討中
		15 虎居地先(虎居地区)	築堤・樋門・樋門	協議中	91%	H21年10月着手	0%	H22
		16 虎居地先(川原地区)	宮之郷橋・宮都大橋・穴川橋・樋門	協議中	(90%)	H20年2月着手(穴川橋)	0%	H21(穴川橋)調整検討中
		17 湯田地先	築堤・特殊堤・樋門・樋門	協議中	77%	H21年10月着手	0%	H22
		18 大蔵寺地先	樋中堤	完了	100%	H20年12月着手	0%	H21
		19 柏原地先	樋中堤・樋門	協議中	73%	H21年7月着手	0%	H22
		20 市場地先	特殊堤	完了	100%	H21年9月着手	0%	H21
		21 新田地先	樋門	協議中	62%	-	0%	H22
		22 神子地先	家屋補償	完了	100%	-	-	完了



※今後の予算の状況等により事業内容が変更される可能性があります。



河川名	市町名	箇所名	事業内容	用地関係(面積)	工事関係(築堤延長or掘削量)	完了 目標年度		
				状況	取得率	状況	進捗率	
久富川	さつま町	38 山崎地先	築堤・築橋・樋門	協議中	92%	H21年3月着手(築橋施工中)	0%	H22
夜星川	さつま町	39 大蔵寺・柏原地先	築堤・夜星川橋・樋門	協議中	99%	H19年12月着手	47% (暫定)	H22
白木川	伊佐市	40 堂崎地先	築堤・樋門	協議中	97%	H19年12月着手	94%	H22
福岡川	えびの市	41 水流地先	築堤・内堀橋・樋門	完了	87%	H20年5月末完了	100%	完了

河川名	市町名	箇所名	事業内容	用地関係(面積)	工事関係(築堤延長or掘削量)	完了 目標年度		
				状況	取得率	状況	進捗率	
川内川	伊佐市	23 宮木地区(曾木の滝分水路)	曾木の滝分水路(掘削)	協議中	93%	H20年10月着手	38%	H22
		24 宮木地区(川西地先)	掘削	-	-	H20年3月末完了	100%	完了
		25 宮木地区(下殿地先)	掘削	完了	100%	H21年10月着手	0%	H21
		26 下殿地先	築堤・樋門	完了	100%	H19年7月着手	62%	H21
川内川	湯水町	27 菱刈地区(荒田掘削)	掘削	-	-	H21年3月末完了 河道E-C97.9%実施中	100%	完了
		28 本郷地区(川間川)	築堤・掘削・樋門	協議中	43%	H20年10月着手	37%	H22
川内川	えびの市	29 染之尾・栗野地区	掘削	-	-	H19年8月着手	96%	H22
		30 永山地区(狹宇部掘削)	掘削	完了	100%	H19年7月着手	75%	H21
川内川	伊佐市	31 般若寺地先	特殊堤・樋門	-	-	H20年9月末完了	100%	完了
		32 向江地先	築堤・水門	完了	100%	H21年4月着手	0%	H22
		33 堂崎地区(羽月掘削)	築堤・掘削・樋門	協議中	99%	H21年10月着手	0%	H22
羽月川	伊佐市	34 金波田地先	築堤・樋門	協議中	65%	H21年7月着手	0%	H21
		35 下手地先	樋門	-	-	H20年9月末完了	100%	完了
		36 原田地先	道路高上げ	-	-	(H20年11月調査着手)	0%	H22
		37 大島地先	築堤	完了	100%	H21年3月末完了	100%	完了

② 川内川河川整備計画の取り組み状況について（治水対策）

激特事業による河川改修の実施状況

■ 推込分水路計画

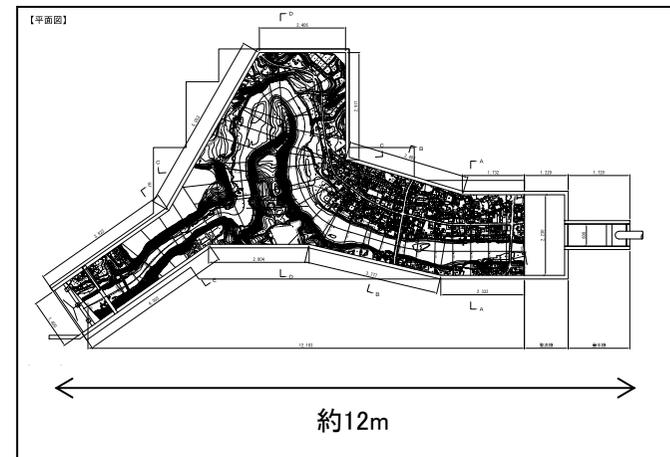
市街地下流部が湾曲していることにより、上流水位の上昇につながり宮之城水位観測所では平成18年7月豪雨時に計画高水位を約3.0m超過

河道拡幅は市街地を大きく改変し多大な影響を与えることから最小限にとどめ、市街地下流側に分水路を設けることにより上流水位の低下を図る

流域内で最大の被災を被ったさつま町虎居地区には、分水路の必要性、分水路の水位低減効果など河川改修に対する不信感を持っている住民が多数存在していたため、『公開水理模型実験』を実施



公開水理模型実験の状況



模型概要図

② 川内川河川整備計画の取り組み状況について（治水対策）

激特事業による河川改修の実施状況

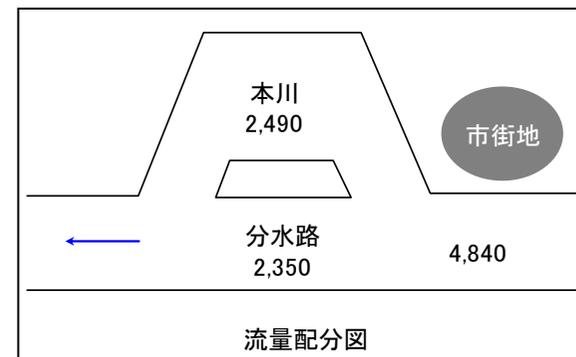
■ 推込分水路の改修状況

推込分水路を上空より



■ 推込分水路諸元

L	=	約230m
H	=	約40m
W	=	約65m（底幅）
i	=	1/250



② 川内川河川整備計画の取り組み状況について（治水対策）

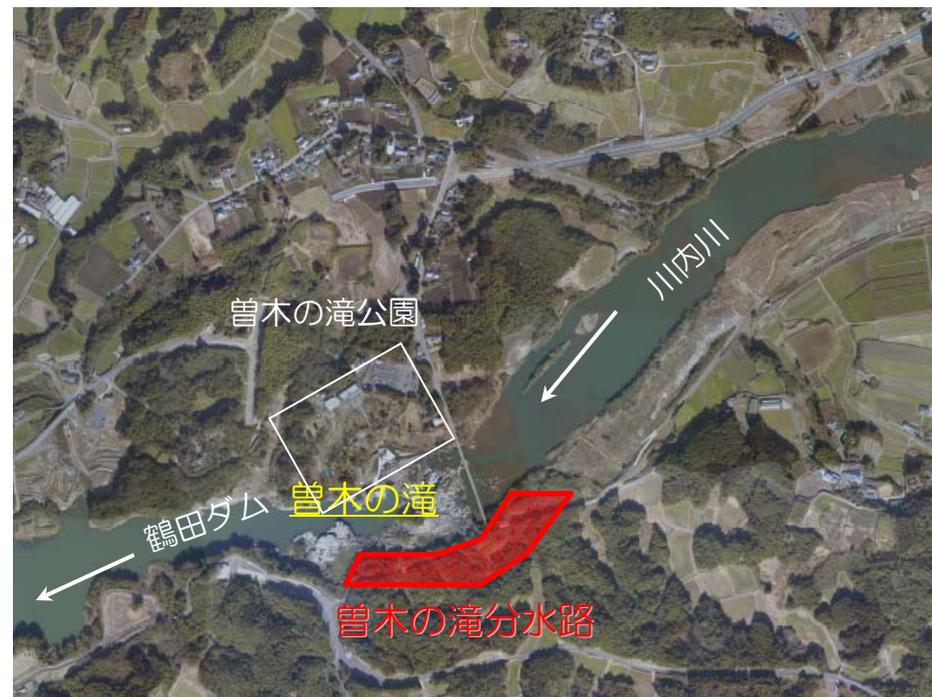
激特事業による河川改修の実施状況

■ 曾木の滝分水路計画

東洋のナイアガラとも呼ばれる景勝地「曾木の滝」が近接しており、滝に隣接して滝を展望できる公園が設けられ県内外から年間40万人の観光客を集める鹿児島県内でも有数の観光地も隣接

景観についての検討を深め、観光地としての価値を落とさず、また、分水路を観光資源のひとつとして活用するために「曾木の滝分水路景観検討会」を平成19年に設立し景観整備の方針検討を実施

検討会の委員には、学識者、国、自治体、観光協会等を選出し、各委員が分水路計画に対して、景観のみならず治水及び利活用を含め議論

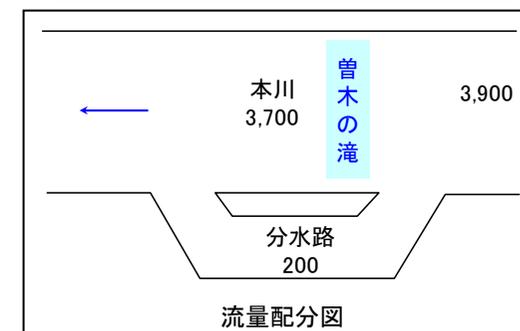


検討会実施状況



景勝地『曾木の滝』

■ 曾木の滝分水路諸元	
L	= 約400m
H	= 約25m
W	= 約30m (底幅)
i	= 1/120



② 川内川河川整備計画の取り組み状況について（治水対策）

激特事業による河川改修の実施状況

『元からそこに川があったかのような景観』を創出するための、施工現場における景観検討及び法面植樹の検討を実施中

■ 曾木の滝分水路の改修状況

曾木の滝分水路を上空より



曾木の滝分水路開削状況 ①



曾木の滝分水路開削状況 ②



② 川内川河川整備計画の取り組み状況について（治水対策）

川内川水害に強い地域づくりの推進（ソフト対策）

水害に強い地域づくりを目指して平成20年に作成したアクションプログラムに基づき、国、県、市町等関係機関が各々の役割分担のもと、一体となり流域の情報治水（ソフト対策）を推進しています。

平成18年7月洪水被害により、平成19年8月に『川内川水系水害に強い地域づくり委員会』より提言を受け、流域関係機関が役割分担、実施スケジュールなどの具体的対策を記したアクションプログラムを平成20年3月に策定し、対策実施中

川内川水系水害に強い地域づくり委員会

【学識経験者】

下川 悦郎 鹿児島大学農学部教授
 疋田 誠 鹿児島工業高等専門学校教授

【専門家】

桑原 道男 北薩地域消防地区代表消防本部長
 田島 直美 特定非営利活動法人きらり理事長
 中面 静雄 鹿児島県土地改良事業団体連合会 始良・伊佐事務所長

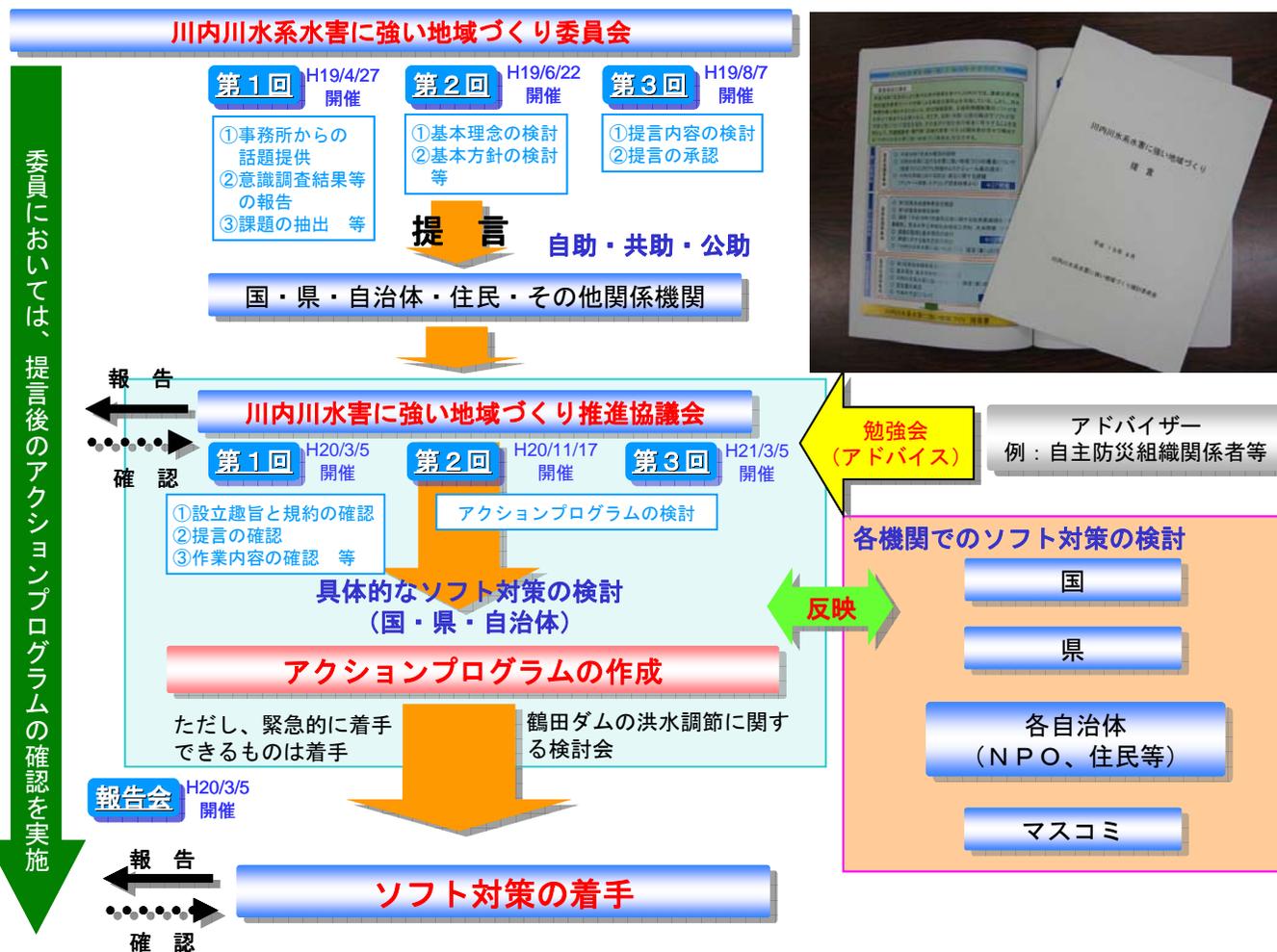
中俣 知大 鹿児島県建築士会川薩支部長

【流域代表者】

飯田 利美 大口市消防団第9分団長
 内 喜彦 さつま町PTA連絡協議会会長
 中園 凱和 久住地区水防災事業推進委員長
 中村 周二 菱刈町消防団本城分団長
 村岡 隆明 川内川えびの会事務局長
 吉原 進 鹿児島大学名誉教授

【マスコミ関係者】

有山 貴史 南日本放送編成本部報道部長
 福永 信一 南日本新聞社薩摩川内総局長
 福原 健一 NHK鹿児島放送局放送部長



② 川内川河川整備計画の取り組み状況について（治水対策）

■ アクションプログラムの実施状況

■ これまでに実施したアクションプログラムの一例

番号	具体的施策 施策名	アクションプログラム 番号 プログラム名	アクションプログラムの実施状況			
			H18.7以前 水害前	H20年度末	H21年度	H22年度 H23年度 激増終了後
1	洪水ハザードマップの作成支援	<1> 市・町洪水ハザードマップ整備完了		●		
		<2> 洪水ハザードマップの有効性確認		●		
		<3> 洪水ハザードマップの定期的更新				●
		<4> 自宅中心の洪水ハザードマップの作成		●		
		<5> 洪水ハザードマップ学習会開催等			●	
2	避難計画・施策の再構築	<6> 浸水する避難所・避難経路の見直し		●		
		<7> 避難所への案内表示板等の設置				●
		<8> 車による移動を考慮した避難計画の検討		●		
3	災害時要援護者避難対策について	<9> 災害時要援護者避難支援計画立案			●	
		<10> 避難所における生活水準の向上			●	
4	水害時住民行動マニュアル作成	<11> 水害時住民行動マニュアルの作成		●		
		<12> 水害による孤立化地域の抽出		●		
5	地域孤立化防止対策について	<13> 孤立化地域の水防資機材の備蓄		●		
		<14> 避難経路の連続性確保、伝達手段確保		●		
		<15> 水害危険性の認識向上・防炎用語等の習得		●		
6	水害危険性の認識向上・防炎用語等の習得	<16> 地域防災講座・訓練等の実施		●		
		<17> 治水目的の土地利用規制				●
7	浸水地区土地利用規制等について	<18> 浸水に強い建築構造導入の検討				●
		<19> 遊水機能確保対策について				●
10	わかりやすく 精度の高い情報提供	<20> リアルタイム表示		●		
		<21> 危険度レベル等の情報の自動配信		●		
		<22> 危険度レベルの標識設置		●		
		<23> マスコミとの連絡協議会の継続		●		
11	地区コミュニティの活用	<24> 自主防災組織単位での避難行動	●			
		<25> 重要な水防情報の見やすい一元化			●	
12	水防情報の一元化	<26> 簡単にアクセスできるシステム		●		
		<27> 勧告・指示発令基準の一貫性確保			●	
13	勧告・指示等の発令基準の統一	<28> 浸水モニター制度の導入		●		
		<29> ホットラインの強化			●	
14	収集情報の発令判断への活用	<30> 水防資機材の十分な備蓄			●	
		<31> 水防資機材の広域的利用体制の確立		●		
15	水防資機材の備蓄・効率的活用	<32> 重要水防箇所の情報提供		●		
		<33> 重要水防箇所に適した水防工法学習	●			
16	重要水防箇所の情報提供	<34> ボランティア受け入れマニュアルの作成			●	
		<35> 業界団体との災害協定書等の締結		●		
17	ボランティアの受け入れ体制、業界団体との協力体制の確立	<36> 浸水被害軽減活動のための教育・体験学習	●			
		<37> 推進協議会の設置		●		
実施プログラム累積計			3	23	32	37
実施率(%)			8	62	86	100

注1) 具体的施策名、アクションプログラム名は紙面の都合上、略しているものがある
注2) ●はアクションプログラムの実施年



② 川内川河川整備計画の取り組み状況について（治水対策）

その他実施中の治水対策

■ 鶴田ダム再開発事業

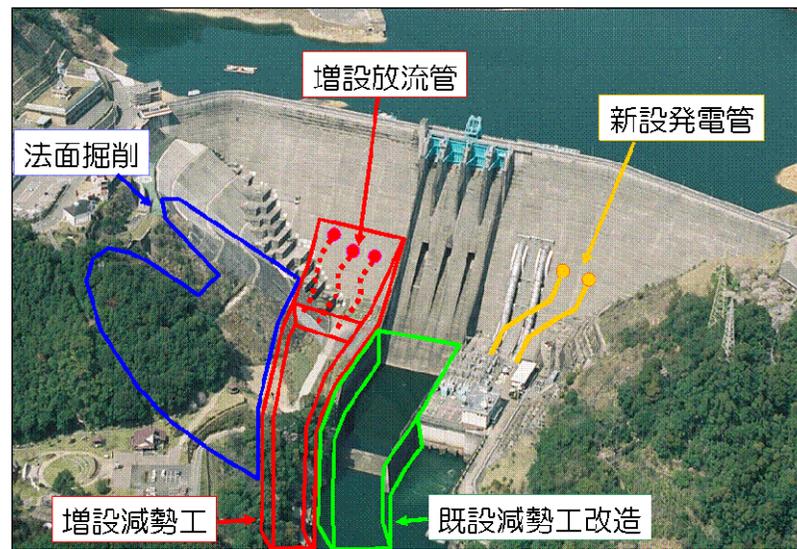
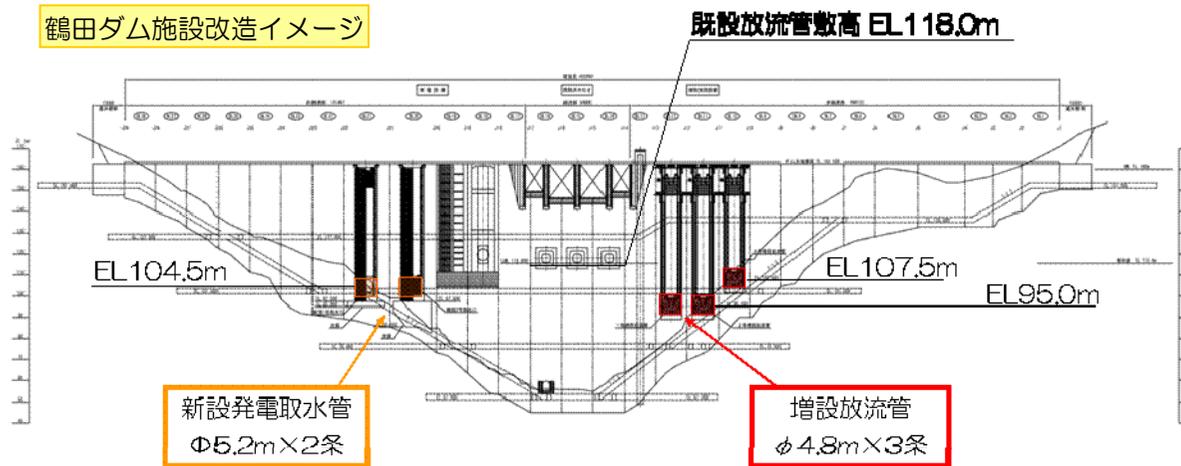
■ 事業概要

洪水調節容量を増量し、洪水調節機能の強化を図るために既設鶴田ダムの改造を実施することで、ダム下流域の洪水位を低減させるとともに、鶴田ダム上流域の河川改修の受け皿の確保を行う。

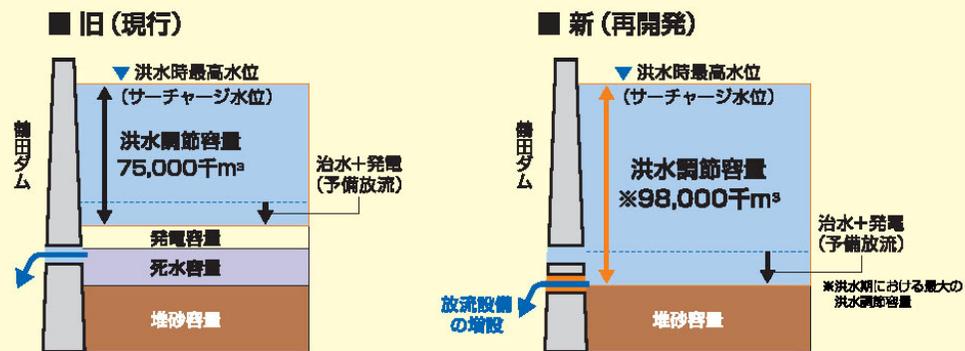
■ 事業期間

平成19年度 ～ 平成27年度（9箇年）

鶴田ダム施設改造イメージ



【夏期】



現在の発電容量と死水容量を洪水調節容量に振り替え、夏場の洪水調節容量を現行の7,500万m³から**9,800万m³**（約1.3倍）に増量します。

洪水調節容量の増量に伴い、洪水調節機能の増強を図るため、新たに現行放流設備より低い位置に放流設備を増設します。

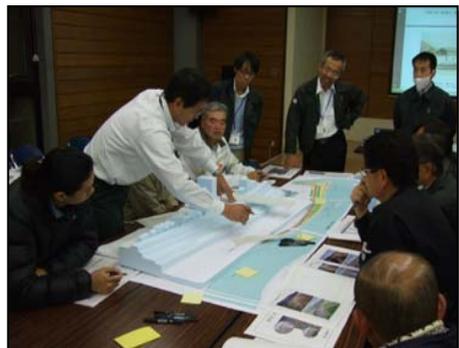
鶴田ダム諸元	形 式	重力式コンクリートダム
	堤 高	117.5m
	堤 頂 長	450m
	集 水 面 積	805km²
	総貯水容量	123,000千m³

② 川内川河川整備計画の取り組み状況について（治水対策）

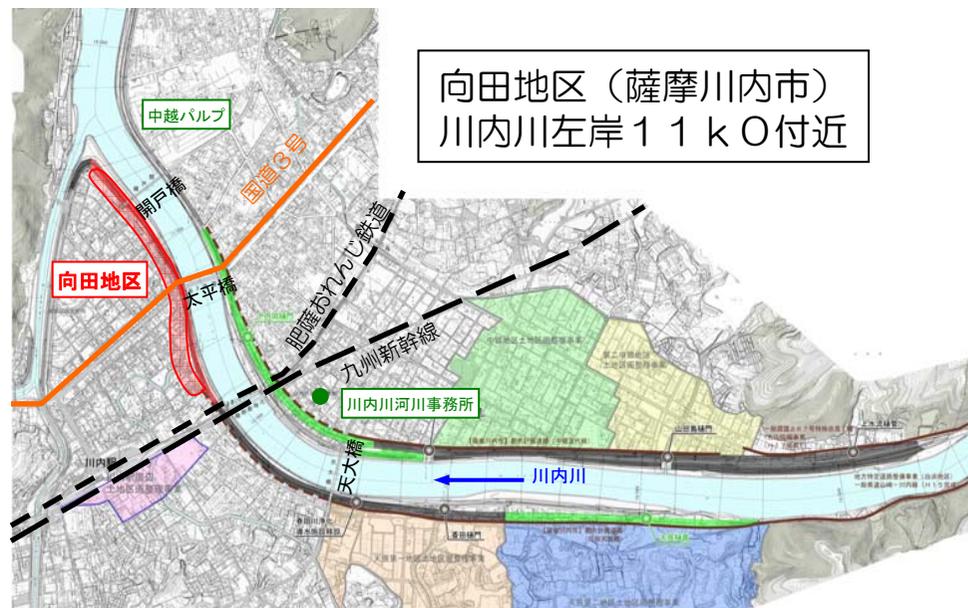
その他実施中の治水対策

■ 向田地区における堤防質的整備

堤防の安全性が低下しており過去に被災履歴のある薩摩川内市向田地区において、平成21年度から雨水や河川水の浸透に対する質的整備（堤防の強化）を実施しており、事業の実施にあたっては住民参加型の検討会を開催し、住民意見を反映した堤防整備を行っています。

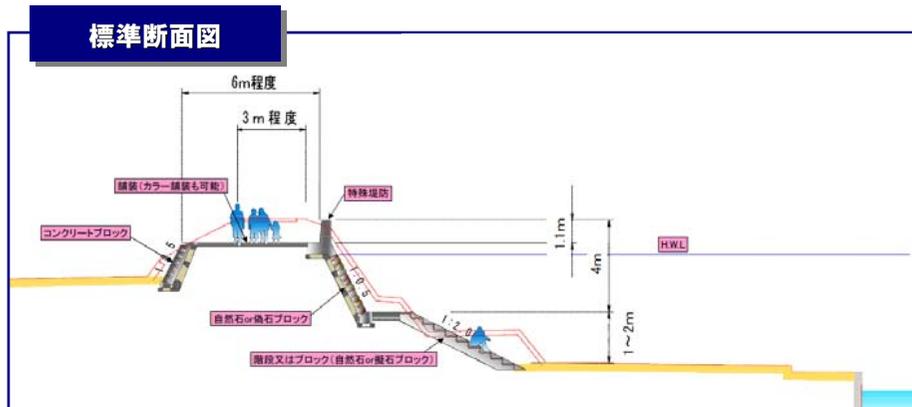


向田地区川づくり検討会実施状況



向田地区（薩摩川内市）
川内川左岸 1.1 km 付近

－ 向田地区工事実施状況－



16 太平橋より上流側を望む



太平橋より下流側を望む

② 川内川河川整備計画の取り組み状況について（河川の利活用）

河川空間の利用実態

川内川は年間約100万人の河川利用があり、その利用形態は、曾木の滝等の景勝地における観光や河川敷や堤防における散策やスポーツ、花火大会等、多岐にわたっています。

■ 川内川の河川利用実態

区分	項目	年間推計値 (千人)	利用状況の割合 (平成18年度)
利用形態別	スポーツ	99	
	釣り	123	
	水遊び	47	
	散策等	784	
	合計	1053	
利用場所別	水面	34	
	水際	139	
	河川敷	503	
	堤防	377	
	合計	1053	

(平成18年度 川内川河川空間利用実態調査)

■ 川内川の河川利用状況



グラウンドゴルフ：薩摩川内市
(川内川宮里公園)



川内川花火大会：薩摩川内市



花火大会：湧水町
(木場地区環境整備)



八間川コンサート：薩摩川内市
(八間川水辺の楽校)

② 川内川河川整備計画の取り組み状況について（河川の利活用）

池島地区環境整備

池島地区においては、平成19年3月に登録された「えびの『水辺の楽校』」の整備を進めており、「こどもから大人まで、近づき・ふれあい・楽しめる水辺づくり」を基本理念とし、こどもたちの環境学習、地域イベント開催、地域の憩いの場とすることを目標とし事業を実施中



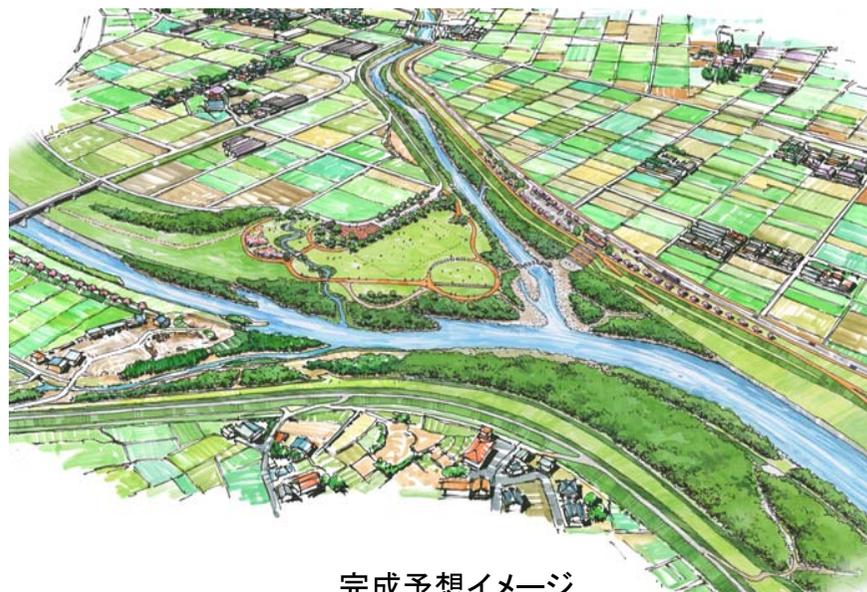
推進協議会実施状況

えびの「水辺の楽校」推進協議会

構成	役職
学識経験者委員	加久藤小学校校長
	上江小学校校長
関係団体委員	川内川えびの会
	加久藤小PTA会長
	上江小PTA会長
	えびの市加-ホ-ト協会会長
	川内川上流漁業共同組合長
	えびの市高齢者クラブ会長
	加久藤保育園
上江保育園	
地域代表委員	池島自治公民館長
	池島土地改良区
	山内自治公民館長
	松原自治公民館長
	前松原自治公民館長
行政機関委員	中島自治公民館長
	川内川河川事務所技術副長
	川内川河川事務所京町出張所
	小林土木事務所技術次長
	えびの市副市長
市役所関係4課	えびの市教育委員会教育長
	企画課長
	学校教育課長
	社会教育課長
	観光商工課長



池島地区（えびの市）
川内川左岸110k0付近



完成予想イメージ

② 川内川河川整備計画の取り組み状況について（河川の利活用）

『川の通信簿』の取り組み

全国の河川空間の親しみやすさや快適性などを現地において市民と協同でアンケート調査を実施した結果から、良い点・悪い点を把握し、河川整備計画や日常の維持管理に反映することにより、良好な河川空間の保全、整備、管理を図ることを目的としています。

点検内容

点検項目	点検内容	5段階評価
1. 豊かな自然を感じますか	■現在の状態	☆☆☆☆☆ 非常に良い。素晴らしい。
2. 水はきれいですか	3. 良い	☆☆☆☆☆
3. 流れている水の量は十分ですか	2. 普通	☆☆☆☆☆
4. ゴミがなくきれいですか	1. 悪い	☆☆☆☆☆ 相当良い。満足感を味わえる。
5. 危険な場所がなく安全ですか	■整備の必要性	☆☆☆
6. 景色はいいですか	2. 整備必要	☆☆☆☆☆ かなり良い部分があり一定の満足感が味わえる。
7. 歴史・文化を感じますか	1. 今のままでよい	☆☆
8. 堤防や河川敷には、近づきやすいですか	■点検項目の重要度	☆☆
9. 水辺へ入りやすいですか	3. 非常に重要	☆☆☆☆☆ ある程度良い部分がある。
10. 広場は利用しやすいですか	2. 重要	☆☆
11. 休憩施設や木陰は十分ですか	1. 普通	☆☆
12. 散歩はしやすいですか	0. 不要	☆☆☆☆☆ すばらしい。
13. トイレは使いやすいですか	■総合評価	☆☆☆☆☆ 相当よい。
14. 案内看板はわかりやすいですか	☆☆☆☆☆	☆☆☆☆☆ 普通。
15. 駐車場は使いやすいですか	☆☆☆☆☆	☆☆☆☆☆ 悪い。
	☆☆☆☆☆	☆☆☆☆☆ 相当悪い。

点検結果

※平成15年度点検結果

11.0~11.6k	右岸	川内市街部	☆☆☆
38.4k	左岸	宮之城町水辺の楽校	☆☆☆☆☆
44.9k	右岸	鶴田町水辺の楽校	☆☆☆☆☆
77.8k	右岸	湯之尾滝公園	☆☆☆☆☆
107.3~107.6k	左岸	永山公園	☆☆☆☆☆
水系全体			3.4

九州内の点検結果

※平成18年度点検結果

遠賀川	3.0	緑川	3.4
山国川	3.4	白川	3.4
大野川	3.4	菊池川	2.8
番匠川	3.8	矢部川	3.7
五ヶ瀬川	3.4	筑後川	3.8
大淀川	3.5	六角川	3.7
肝属川	4.0	松浦川	3.8
球磨川	3.3	本明川	3.5

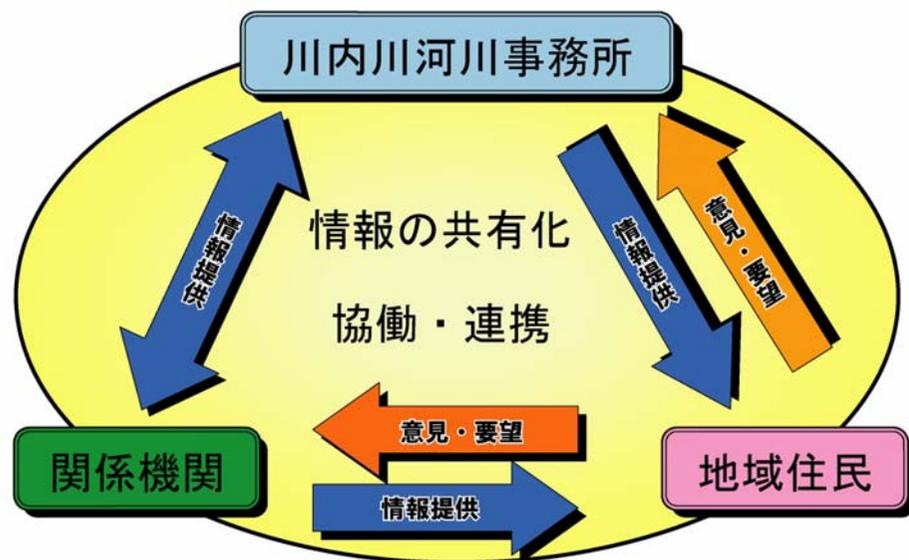
② 川内川河川整備計画の取り組み状況について（広報活動）

川内川における広報活動の方針

広報とは情報の共有化であり、「川内川らしさ」を活かした河川整備を進めていくために、あらゆる情報を、適切な時期に、自発的に発信し、今後の河川行政の信頼形成に努める。

■ 広報活動の考え方

ホームページやリーフレット、ラジオ、テレビ、新聞など地元メディアを利用して広く情報提供し、地域住民との合意形成に向けた情報の共有化、懇談会の開催等による意見交換の場づくりを図るなど、関係機関や地域住民等との双方向のコミュニケーションを推進していきます。



川内川における広報活動のイメージ

■ 具体的な広報活動

川内川河川事務所では、現在、様々な広報活動を実施し、関係機関や地域住民との情報の共有に努めています。

実施している主な広報活動

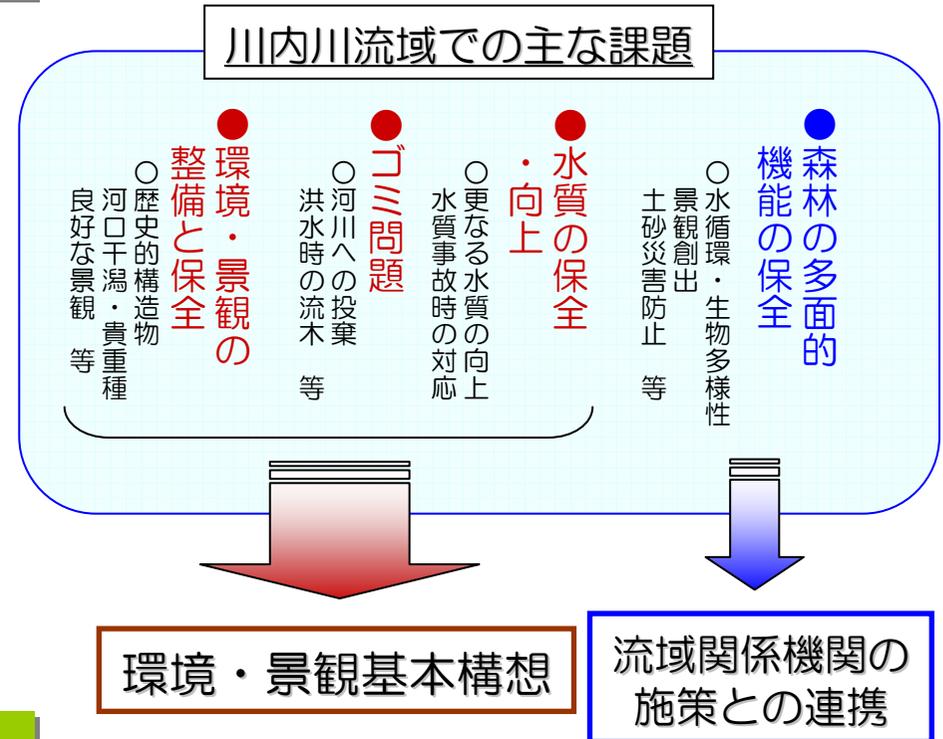
- ・ 川内川河川事務所ホームページ
- ・ 川内川河川整備計画パンフレット配布（早わかりガイドブック）
- ・ 川内川激特レポート（HP）
- ・ さつま町広報（川内川激特・鶴田ダム再開発速報）
- ・ 川内駅河川情報版
- ・ 事業に関するパンフレット作成（激特事業、ダム再開発事業、防災情報、環境事業等）
- ・ 特別教室『出前講座』
- ・ せんだいがわWebマガジン『せせらぎ』（リーフレットとして市町、公共施設等にも配布）
- ・ 川内川メルマガくらぶ
- ・ 川内川子ども環境ネットワーク

③川内川環境・景観基本構想策定に向けての取り組みについて

③川内川環境・景観基本構想策定に向けての取り組みについて

構想作成の背景

- 川内川学識者懇談会では以下の4つの課題提起
「環境・景観の整備と保全」「ゴミ問題」「水質の保全・向上」「森林の多面的機能の保全」



構想作成の目的

- 川内川水系で様々な河川事業を推進していく上での行動指針
 - 留意すべき環境・景観要素を把握し、配慮方針を設定
 - 河川管理者が実行する内容を記載
 - …河川管理者が実行できない内容は関係者への協力依頼を記載
- 過去の歴史、自然、人と川との関わりを踏まえて、環境・景観の視点からみた川内川水系の今後のあるべき姿を示したもの

③川内川環境・景観基本構想に向けての取り組みについて

構想の内容

■本構想では「環境・景観」を基本に他の要素を含めて扱う

➤ 「環境」と「景観」は一体のものとして扱う

【視点】どんな環境要素がどんな景観を形成し、人々がどのように受け止めているか？

■保全・形成すべき「環境・景観」(目標)と方策、役割などを記載

…希少種などの個別の環境要素は、具体の対策ではなく保全の方針を示す



人は、自然の営み、人々の営みによって構成される環境の総体的な姿を、五感や心で捉える。自然の営みや人々の営みの内容は、河川ごとによって異なり、それぞれが特徴的な景観を形成している。



「河川景観」の捉え方のイメージ

…「河川景観の形成と保全の考え方」(国土交通省、平成18年10月より)

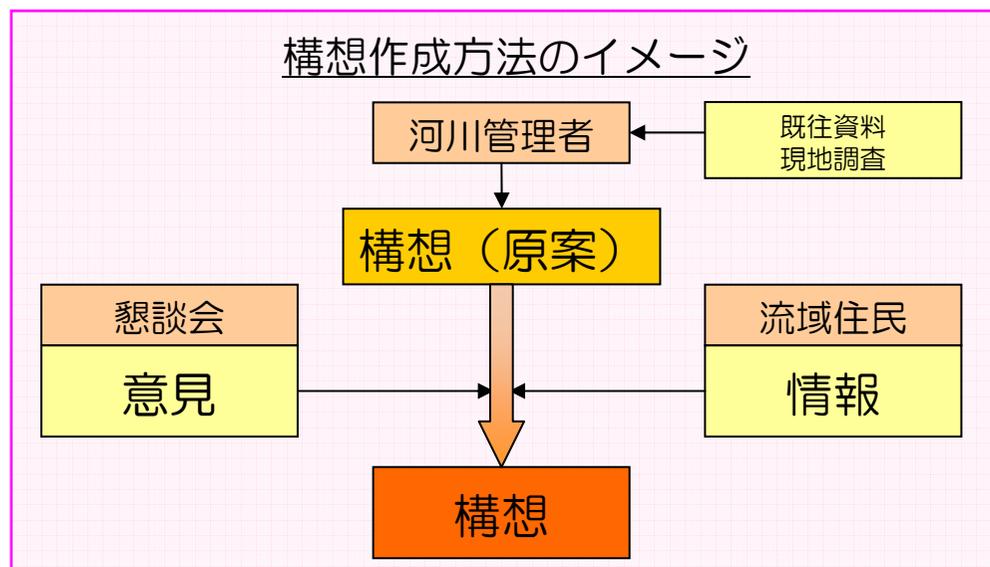
③川内川環境・景観基本構想に向けての取り組みについて

構想の作成方法

- 既往資料、現地調査に基づき、構想原案を作成
 - 学識者からなる「懇談会」から意見収集
 - 流域住民から情報を収集
- …「環境・景観」の価値を認識し、そこからの各種サービスを楽しむ、その形成や保全に関与するのは流域住民であるため、その情報収集が重要

構想の作成スケジュール

- 平成23年度頃を目途として策定
- 策定プロセスにおける住民意見の収集方法は地域ごとに住民懇談会を予定



③川内川環境・景観基本構想策定に向けての取り組みについて

川内川の環境・景観の概要 -盆地と狭窄部をくりかえす特徴的な川内川-

①川内川の歴史の景観

治水の歴史を秘める堤防や捷水路、航路確保のための河道改修、中流部の大ダム鶴田ダムと大鶴湖等川内川と人々の営み…
⇒ 地域ごとに様々な表情を見せる個性豊かな河川景観を創り出している。

②自然の景観

沿川随所で見られるゲンジボタル、曾木の滝やクルソン峡等の景勝地、天然記念物チスジノリの生育する瀬等…
⇒ 変化に富んだ美しい川内川の自然環境は地域の環境資源となっている。

③川と地域の関わりの景観

清流の川遊び、ホタル船、ドラゴンボート大会、川内川フェスタ等…
⇒ 上流から下流まで様々な川内川に親しみ楽しんでいる景観が見られる。

④治水と利水の施設の景観

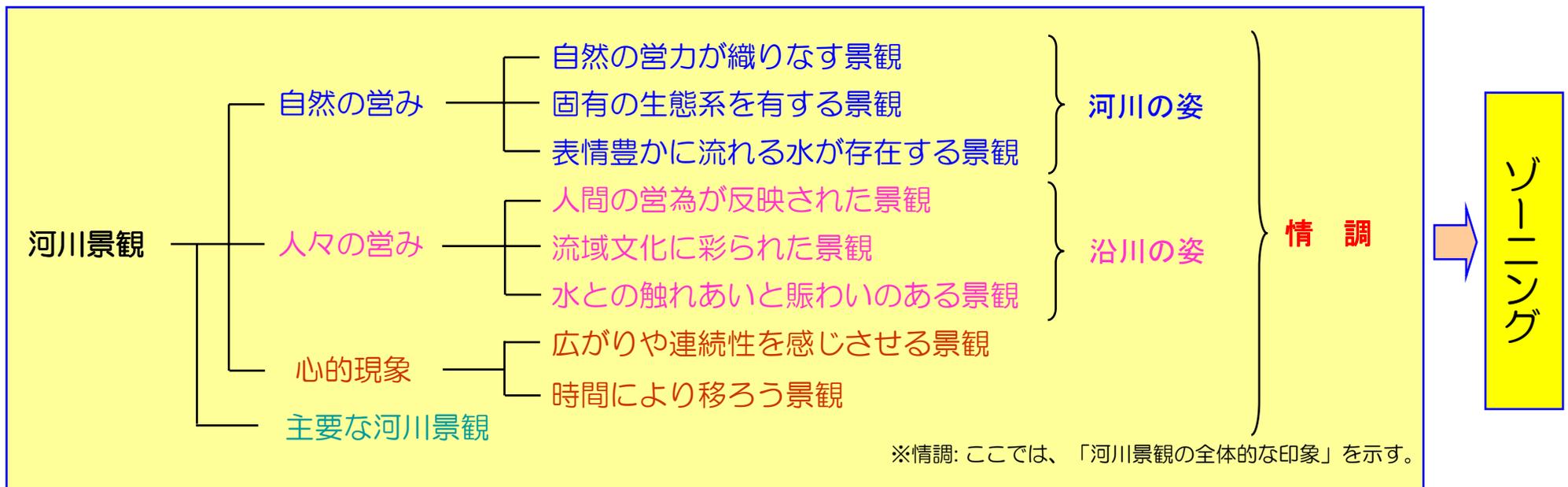
盆地と狭窄部をくりかえす特徴的な川内川の治水、利水、発電の施設…
⇒ 長い歴史的経過をとどめながら地域毎に大きな存在感を持って個性ある景観を創っている。



③川内川環境・景観基本構想策定に向けての取り組みについて

河川環境・景観を把握する視点

河川環境の保全と形成には、地域の特性を踏まえた方策を進める必要があることから
1)河川の姿、2)沿川の姿、3)主要な河川景観、4)河川景観の情調 の4つの視点で
川内川の環境・景観をながめ、ゾーニングの設定を検討中。



河川の姿: 地形、河床、流れ、高水敷、大規模事業

沿川の姿: 土地利用、ランドマーク、行政区分(行政区分は景観形成のベースとなる地域のまとまりとして設定)

主要な河川景観: 歴史的景観、自然の景観、川と地域の関わりを示す景観、治水利水施設

河川景観の情調: 現地踏査から把握した情調

③川内川環境・景観基本構想策定に向けての取り組みについて

川内川河川環境・景観の保全と形成の目標の定め方

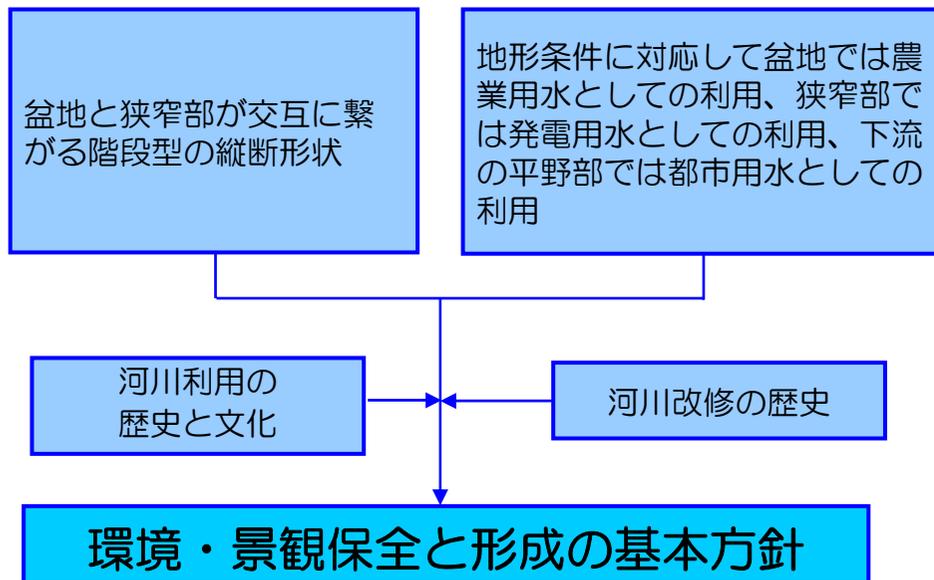
○環境・景観の保全と基本方針

川内川の地形条件、河川利用の歴史と文化、河川改修の歴史を踏まえて、基本方針を設定。

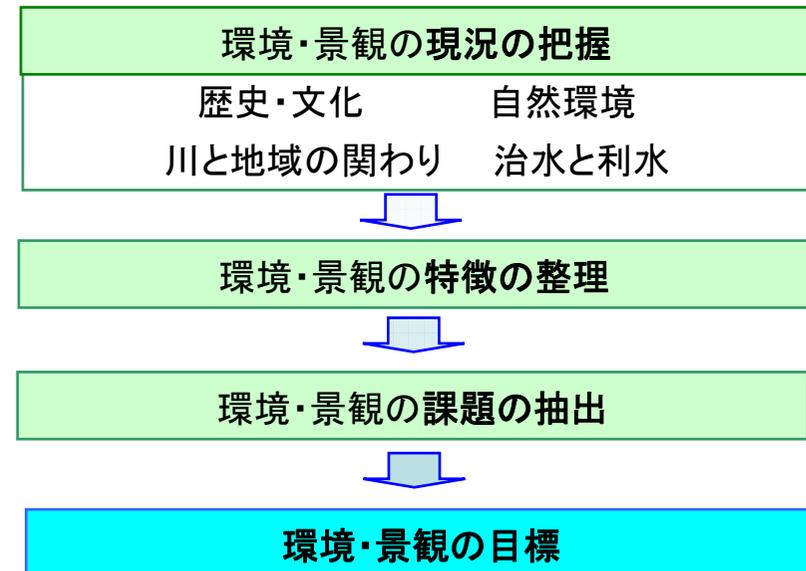
○ゾーン別目標の設定

ゾーンごとに環境・景観の現況を把握し、その特徴と課題を踏まえて、ゾーン別目標を設定。

環境・景観の保全と形成の基本方針



ゾーンの目標の設定



③川内川環境・景観基本構想策定に向けての取り組みについて

ゴミ問題

■河川へのゴミの投棄・洪水時の流木 等

- 景観上の問題・・・河川敷に散乱、堰などに集積。さらに、水質への影響も懸念。
- 治水安全上の問題・・・橋脚等に引っかかると流水障害。堤防等の破損要因。
- 処分費用の問題・・・回収費用、焼却等の処分費用。不法投棄がなければ負担は発生しない（ゴミ）

取り組みの現状

実態把握

- ・河川巡視(週2回)

清掃活動

- ・NPOとの連携による一斉清掃
(H21実績:流域内約51団体
900名参加)



啓発活動

- ・平成17年より河川巡視結果を集計してゴミマップを公表
- ・ゴミが甚だしいところに看板設置



【ゴミマップ】



【不法投棄対策看板】

ゴミ処分費用の公表、不法投棄の罰則周知・取り締まり強化、倒木の回収等が今後の課題

③川内川環境・景観基本構想策定に向けての取り組みについて

水質の保全・向上



■更なる水質の向上・水質事故等の対応 等

- 川内川を昔のように澄んだ川、泳げる川、魚が見える川にとの要望多数
- 畜産排水に対する課題
- 本川だけでなく支川もきれいにしたいとの要望

取り組みの現状

実態把握

- ・水質調査の実施と結果の公開

啓発活動

- ・子供環境ネットワークによる水質調査

水質対策

- ・下水道等の整備(薩摩川内市以外は、浄化槽と農業集落排水による整備)
- ・水濁協による連携
(排水基準適用外の小規模事業所等の対策も含めたWGをH21設立)
- ・保健所による立入検査、行政指導
- ・オイルフェンス、吸着マット等による水質事故対策

汚水処理人口普及率 (平成19年度末)	
市町	整備率
えびの市	25.7%(H13)
湧水町	49.6%
伊佐市	43.9%
さつま町	48.0%
薩摩川内市	49.3%

川内川流域の排水基準
監視立入調査実施状況
(鹿児島県内)

年度	立入検査	改善命令	行政指導
平成19年度	60	1	4
平成20年度	54	1	1

家庭でできる排水対策の普及、水質に寄与する畜産廃棄物の処理法等が今後の課題

③川内川環境・景観基本構想策定に向けての取り組みについて

水質の保全・向上

市町広報誌での水質改善啓発（平成21年度）

平成20年度に各市町及び県の環境部署と連携し『水質浄化に関するWG』を設立・検討し、水質改善の啓発活動を行うことを決定。

薩摩川内市

「川内川水系水質」からのお知らせです **川を大切にしよう!**
 第1回 家庭から出た生活排水が、川を汚している大きな原因なんです!

川を汚す主な原因は?
 台所や洗濯、風呂などの家庭からの排水が川を汚している大きな原因になっています。

魚が泳ぐのに必要な水の量は、どのくらい必要でしょうか?

洗す食べ物・飲み物	洗す食べ物・飲み物	洗す食べ物・飲み物
米のとぎ汁 600cc	牛乳 15,000cc	
コーヒー 1,000cc	ジュース 15,000cc	
ラーメンの汁 5,000cc	醤油 16,000cc	
味噌汁 7,000cc	てんぷら油 200,000cc	
おでんの汁 15,000cc	マヨネーズ 240,000cc	

川内川水系水質汚濁対策連絡協議会
 事務局 国土交通省 川内川内川事務所 管理課
 〒896-0271 電話 0996-22-3808
 FAX 0996-22-3809
 http://www.gqr.mlit.go.jp/samurai/

【9月】

さつま町

「川内川水系水質」からのお知らせです **川を大切にしよう!**
 第1回 家庭から出た生活排水が、川を汚している大きな原因なんです!

川を汚す主な原因は?
 このように生活排水が川に流れ込むことで、川が汚れてしまいます。

魚が泳ぐのに必要な水の量は、どのくらい必要でしょうか?

洗す食べ物・飲み物	洗す食べ物・飲み物	洗す食べ物・飲み物
米のとぎ汁 600cc	牛乳 15,000cc	
コーヒー 1,000cc	ジュース 15,000cc	
ラーメンの汁 5,000cc	醤油 16,000cc	
味噌汁 7,000cc	てんぷら油 200,000cc	
おでんの汁 15,000cc	マヨネーズ 240,000cc	

川内川水系水質汚濁対策連絡協議会
 事務局 国土交通省 川内川内川事務所 管理課
 〒896-0271 電話 0996-22-3808
 FAX 0996-22-3809
 http://www.gqr.mlit.go.jp/samurai/

【9月】

【10月】

「川内川水系水質」からのお知らせです **川を大切にしよう!**
 第2回 ささいな気遣いで川はきれいになります!

今日からできる川を汚さないための工夫!
 ～みんなの生活の中で簡単にできることばかりです～

小さなゴミ、使い終わった天ぷら油など、食器の油汚れ、洗った飲み物や果汁、米のとぎ汁、台所や洗濯の洗剤。

川内川水系水質汚濁対策連絡協議会
 事務局 国土交通省 川内川内川事務所 管理課
 〒896-0271 電話 0996-22-3808
 FAX 0996-22-3809
 http://www.gqr.mlit.go.jp/samurai/

【11月】

伊佐市

「川内川水系水質」からのお知らせです **川を大切にしよう!**
 第1回 家庭から出た生活排水が、川を汚している大きな原因なんです!

川を汚す主な原因は?
 このように生活排水が川に流れ込むことで、川が汚れてしまいます。

魚が泳ぐのに必要な水の量は、どのくらい必要でしょうか?

洗す食べ物・飲み物	洗す食べ物・飲み物	洗す食べ物・飲み物
米のとぎ汁 600cc	牛乳 15,000cc	
コーヒー 1,000cc	ジュース 15,000cc	
ラーメンの汁 5,000cc	醤油 16,000cc	
味噌汁 7,000cc	てんぷら油 200,000cc	
おでんの汁 15,000cc	マヨネーズ 240,000cc	

伊佐市川内川事務所 管理課
 〒896-0271 電話 0996-22-3808
 FAX 0996-22-3809
 http://www.gqr.mlit.go.jp/samurai/

【9月】

湧水町

私たちにできること
 みんなの生活の中で少しの工夫でできることから始めよう。

川を汚す主な原因は?
 台所や洗濯、風呂などの家庭からの排水が川を汚している大きな原因になっています。

魚が泳ぐのに必要な水の量は、どのくらい必要でしょうか?

洗す食べ物・飲み物	洗す食べ物・飲み物	洗す食べ物・飲み物
米のとぎ汁 600cc	牛乳 15,000cc	
コーヒー 1,000cc	ジュース 15,000cc	
ラーメンの汁 5,000cc	醤油 16,000cc	
味噌汁 7,000cc	てんぷら油 200,000cc	
おでんの汁 15,000cc	マヨネーズ 240,000cc	

湧水町川内川事務所 管理課
 〒896-0271 電話 0996-22-3808
 FAX 0996-22-3809
 http://www.gqr.mlit.go.jp/samurai/

【9月】

えびの市

今日からできる川を汚さないための工夫!
 ～みんなの生活の中で簡単にできることばかりです～

川を大切にしよう!
 ～川内川水系水質汚濁対策連絡協議会からののお知らせ～

川を汚す主な原因は?
 このように生活排水が川に流れ込むことで、川が汚れてしまいます。

魚が泳ぐのに必要な水の量は、どのくらい必要でしょうか?

洗す食べ物・飲み物	洗す食べ物・飲み物	洗す食べ物・飲み物
米のとぎ汁 600cc	牛乳 15,000cc	
コーヒー 1,000cc	ジュース 15,000cc	
ラーメンの汁 5,000cc	醤油 16,000cc	
味噌汁 7,000cc	てんぷら油 200,000cc	
おでんの汁 15,000cc	マヨネーズ 240,000cc	

えびの市川内川事務所 管理課
 〒896-0271 電話 0996-22-3808
 FAX 0996-22-3809
 http://www.gqr.mlit.go.jp/samurai/

【10月】

【10月】

川内川流域での主な課題の対応状況（流域の取り組み）

森林の多面的機能の保全

- 水循環・生物多様性・景観創出・土砂災害防止 等の観点からの森林保全方策
- 森林が荒廃により保水能力が低下し、洪水・渇水の増加が懸念。また、流木も発生。
- 生物の生育・生息空間として、森林は重要
- 地滑り、崩落などの土砂災害の発生

取り組みの現状

間伐材等の活用

- ・えびの市バイオマスタウン構想(2009.2.2構想段階)
- ・河川工事における間伐材利用促進

森林保全活動

- ・水源涵養保安林、保健保安林、土砂流出防備保安林等の指定(農林水産大臣または県知事が指定)
- ・宮崎県「企業の森林づくり制度」
- 2008.2に南九州コカ/コーラボトリング(株)が「さわやか涵養林・えびのの里」整備・保全協定を締結
- ・鹿児島県による環境の森整備



【えびの市バイオマスタウン構想】

森林保全を目的とした流域内の交流促進等が今後の課題